

九州歯科学會 NEWS

季刊

2025年
1月25日

冬号

九州歯科学會広報
理事：吉居慎二
九州歯科学會事務局
kds.gakkai@gmail.com
TEL 093-571-9555
九州歯科学會雑誌事務局
kds.zasshi@gmail.com

九州歯科学會總會
評議員会・学術大会

期日
令和7年(2025年)
6月21日(土)
~22日(日)

開催形式
対面とオンラインによる
ハイブリッド開催

会場
講演・ポスター会場は
九州歯科大学講堂にて
(Teamsによる配信)

会費
正会員：5,000円
コデンタル：1,000円
学部学生など：無料

演題登録
令和7年(2025年)
2月1日から3月1日
学会HPから登録

最新情報はこちら



九州歯科学會
Kyushu Dental Society

次年度九歯學會大会

講堂開催に変更!!

九州歯科学會・理事会は
次年度学術大会を「講堂」で
開催すると決定した。事前
には講義室としていたた
め、開催場所の変更となる。

九州歯科大学講堂での開
催は、大学側の計らいで半
額での賃借料となっている
が三〇万円以上の費用が必
要である。一方、昨年よう
に講義室を使用した場合は
三万円程度と格安である。
これまでの赤字予算では講
堂での開催は不可能とされ
た。しかし、九州歯科大学学

長・大学院科長の意向にて、

学術大会の口演・ポスター
発表ならびに特別講演が大
学院との共催になった。ゆ
えに、賃借料を一部抑制で
きる算段となり、前年度の
黒字決算を受けて緊急に
「講堂開催」へと変更され
ることになったようだ。

学術大会で重要なのは、
箱ではなく内容ではあるも
の、学外演者やシンポジ
ストの方々に講演いただく
際に、講義室で行うよりは
威厳ある講堂の方が喜んで

いただけるだろう。聴衆収
容の規模もはるかに大きく
なる。会員の思い出に残る
ような大規模な学術大会に
なることが期待される。

会員皆様の事前準備の 協力が必要です

懸念されるのは、オンラ
イン配信が講堂でも可能で
あるかということと、事前
準備が大がかりになること
である。これらの達成のた
めには、以前講堂開催をし
ていた時のように、大会前
日に大勢で準備を行う必要
がある。若い会員には新規
のことで負担に感じるだろ
うが、より良い学術大会開
催に協力いただきたい。

學會誌 投稿数増加

症例報告の投稿を

九州歯科学會雑誌は

九州歯科大学の紀要で
はない。大学とは独立
した組織である。そも
そも大学設立前から存
在しており、九州・山
口地域に歯科教育機関
が皆無であった頃に設
立されている(福岡今
泉に専門学校があった
時代)。

式な役割である。

本ニュースによる広
報の効果があつたの
か、九州歯科学會誌(以
下九歯學會誌)への投
稿が増加している。昨
年の一二月に七八巻四
号が刊行され、七九巻
一号の編集(三月刊行
予定)が開始されてい
る。年間の推定論文数
は二十本に達すると想
定され、ここ十年間、九
歯學會誌の掲載論文数
が年に五〜八本であつ

た状況を抜け出そうと
している。しかしなが
ら、今後この状況が継続
していくかどうかは不
透明だ。

歯科臨床においては
「E」に基づいた医療を行
うことが重要である。そ
のためにはランダム化
比較試験(RCT)を行う必
要があるが、そのために
は多くの「症例報告」が
なければならぬ。

九歯學會誌では「臨床
報告」として随時投稿を
受け付けている。左記の
論文を参照されたい。
九州歯科学會雑誌に
おける症例報告

九州歯科学會雜誌

78巻4号 内容紹介



総説 (RV00005)

閉塞性睡眠時無呼吸患者
への口腔内装置療法にお
ける多職種連携について
(楨原 絵理)

総説 (RV00006)

歯科医療従事者が知って
おくべき栄養状態の評価
方法と補綴治療介入の影
響
(辻澤利行 他)

原著 (OA00001)

九州歯科大学歯学部口腔
保健学科新生における
意識調査
(黒石加代子 他)

トピックス (TS00003)

最新の研究動向シリーズ
(第1回) お口の健康
につながるメディカルハ
ープを探索しよう
(山崎亮太)

トピックス (TS00002)

Tips for Our Readers (第
1回) コンポジットレ
ジン修復に必要な知識
(吉居慎二)

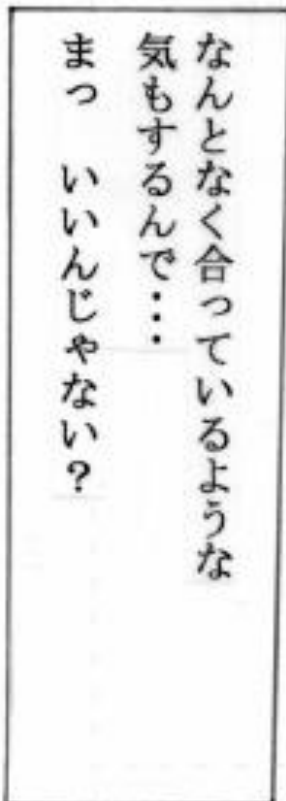
トピックス (TS00001)

特別寄稿 歯突起咬合論
(玉利尚之)



九齒大 OB の 43's 先生による漫画連載第 2 弾





43 's先生に激励のX投稿を！ネタも募集しています！！